

第66回 青少年読書感想文 全国コンクール 課題図書紹介

＊小学校低学年の部

「おれ、よびだしになる」
中川 ひろたか／文
石川 えりこ／絵

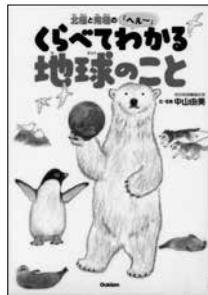


小さいころから相撲が好きだったぼくは、中学を卒業すると「よびだし」になった。よびあげ、太鼓、土俵づくりなどを先輩に教えてもらい、やがて、ぼくの初土俵の日がやってきて…。大相撲の世界に飛び込んだ少年を描く。

中川ひろたか氏は、1954年生まれ。シンガーソングライター。『ないた』で日本絵本大賞受賞。

＊小学校中学年の部

「北極と南極の「へえ」」
中山 由美／文・写真
秋草 愛／絵



北極と南極、より寒いのはどっち？女性で初めて記者として南極観測越冬隊に参加し、その後も北極と南極の両方を何度も取材してきた著者が、北極と南極のちがいや、そこから見えてくる地球環境の変化などを紹介する。

中山由美氏は、朝日新聞記者。45次南極観測越冬隊と51次夏隊に同行。東日本大震災・原発事故の連載「プロメテウスの民」で担当した「観測中止令」で科学ジャーナリスト賞2012を受賞。

＊小学校高学年の部

「飛ぶための百歩」
ジュゼッペ・フェスタ／著
杉本 あり／訳
まめぶく／イラスト



ぼくはもう子供じゃないんだー。中学を卒業したばかりのルーチョは、ただ「目が見えない」からって周りに差し伸べられる手は好きになれなくて…。盲目の少年の葛藤と成長を描く。一步を踏み出したい全ての人に送る物語。

ジュゼッペ・フェスタ氏はイタリアの作家。自然科学の学位を持ち、環境教育に従事。音楽家。

7月の催しもの

と き	催しもの
20・27日 (月)	午前 11 時～ あかちゃん絵本 よみかかせ会
16・23・30日 (木)	午前 10 時～ 午後 0 時 30 分 あかちゃんクラブ ラッコールム
18・25日 (土)	午前 11 時～ 「おはなし」と 「あそび」の広場
26日 (日)	午前 11 時～ 午後 3 時～ 子ども科学教室

◆不用図書の無料配布

7月15日(水)から、無くなり次第終了。一人8冊まで。

◆蔵書点検と図書館システムの点検による休館

6月30日(火)～7月9日(木)
※7月の第3水曜(7月15日)は開館します。

その他の課題図書

課題図書は、小学校の部を各3冊、中学校の部(未紹介)を各2冊、高等学校の部(未紹介)を各1冊用意しています。

＊小学校低学年の部

◆「山のちようじょうの木のとてっぺん」
もがみ いっぺい／作
最上 一平／作
ありた なお／絵
有田 奈央／絵

◆「タヌキのきょうしつ」
やました あきお／作
山下 明生／作
はせがわ よしふみ／訳
長谷川 義史／訳

◆「ながーい5ふん、みじかい5ふん」
リズ・ガートン・スキャンロン／文
オードリー・ヴァーニック／文
オリヴィエ・タレック／絵
木崎 かづよ／訳
木坂 涼／訳

＊小学校中学年の部

◆「青いあいつがやってきた!？」
まつい 松井 ラフ／作
おの やよい／絵
大野 八生／絵

◆「ねこと王さま」
ニック・シャラット／作・絵
いちだ いずみ／訳
市田 泉／訳

◆「ポリぶくろ、1まい、すてた」
ミランダ・ポール／文
エリザベス・ズーノン／絵
ふじた ちえ／訳
藤田 千枝／訳

＊小学校高学年の部

◆「ヒロシマ消えたかぞく」
さした かず／著
指田 和／著
すずき 六郎／写真
鈴木 六郎／写真

◆「月と珊瑚」
かみじょう 上條 さなえ／著
◆「風を切って走りたい!」
たかはし 高橋 うらら／著

俳句 「夏帽子」

句敵の忘れて行きし夏帽子
炎天下山よ高くと石上ぐる
青風いまだ自肅の解かれざる

ふそう俳句会

川柳

冗談の隅に本音をしのばせる
お名前の出ない笑顔にご挨拶
人生の卒業まだとエンマさま

扶桑川柳クラブ

短歌

「コロナに籠もる」
治療薬、ワクチン定まらざる現世
気を引き締めてこの夏籠もる

ふそう短歌会

甦る小さき夢とも荒れ庭に
光こぼせる七星瓢虫
耳までも「コロナ」を防ぐ戦士めく
壁なるマスク隙なく支え

和悦 悦子
鈴木 淑子
中山 哲也

詩吟

「半夜」

良寛

首を回らせば五十有余年
人間の是非は一夢の中
山房五月黄梅の雨
半夜蕭々として虚窓に灑ぐ

「意」 過ぎし五十余年を顧みるにすべてが夢のように感じられる。夜中にただ一人山の庵に坐じて五月雨の淋しく降りしきる音をきくのは、そぞろ人生の哀愁であらう。

正風流二代目家元 山内 正風